

行動経済学を 労務トラブル 解決に活かす

揉める 退職勧奨 揉めない 退職勧奨

● 受講方法 ●

① 会場受講

(ウインクあいち17階
セミナールーム)
名古屋市中村区名駅四丁目4-38

② Web受講

(Zoomウェビナー使用)

人間は論理では動きません。感情で動く動物です。労働問題は、まさに感情の問題です。また、人間は不合理な意思決定を繰り返しています。また退職勧奨を行うとなれば、労使の感情がぶつかり合い紛争に至りやすくなります。

本講座では、行動経済学を労務トラブル解決にどのように活かすかを事例を基に解説し、また、退職勧奨についてもいくつかの事例をもとに揉めないで紛争を予防するためのポイントを解説いたします。

危険予知や円満な合意締結のために利用し、実際の労務トラブルの解決に活かせるように丁寧に解説しますので、ぜひご参加ください。

講義内容

行動経済学を労務トラブル解決に活かす

- ・ おとり効果 (選択肢を設けたほうが人間の判断が制限されてしまう)
- ・ 現在志向バイアス (目の前の利益を人間は優先する)
- ・ プロスペクト理論 (損失回避性) (交渉への応用方法)
- ・ 現状維持バイアス (現状維持を好む傾向にどう対処するか)
- ・ ピークエンドの法則 (経営幹部への退職勧奨で気をつけること)
- ・ 気質効果 (言い訳をあえて作る)
- ・ 心理的リアクタンス (人間の「あまのじゃく」の性質を利用する)
- ・ 希少性の法則 (希少性があるほうが価値があると認識しやすい)
- ・ テンション・リダクション効果 (交渉の優先順位、提案時期)

日時

令和4年 5月27日(金)
10:00~16:30

受講料 10,000円/名

講師 社若経営法律事務所
弁護士 向井 蘭氏



講義内容

揉める退職勧奨・揉めない退職勧奨

- ・ なぜ退職しないのか、退職しない理由から考える
- ・ 退職勧奨の成功率が高まる要素、下がる要素
- ・ パターン別退職勧奨対応例
- ・ 職場でのローパフォーマー社員への対処法
~避けるべき流れ・望ましい流れ~
- ・ 日報指導の有用性
- ・ 10事例 ~よくある紛争類型、揉める事例・揉めない事例~

申込方法

- ① ホームページ
- ② FAX または 郵送

※折り返し、受講票と受講料振込み用紙を送付いたします。
なお、お申し込み後2週間を経過しても届かない場合は、お手数ですが右記問合せまで確認をお願いいたします。



問合せ

公益財団法人 愛知県労働協会 労働教育グループ
TEL:052-485-7154

〒450-0002 名古屋市中村区名駅四丁目4-38 ウインクあいち17階
E-mail: rodo@aillabor.or.jp ホームページ <http://www.aillabor.or.jp/rodo/>

お申し込みはA4のままFAXしてください。 FAX 052-583-0585

「行動経済学を労務トラブル解決に活かす」「揉める退職勧奨・揉めない退職勧奨」 受講申込書 Y-1

受講方法選択
(いずれかに○)

会場受講 ・ WEB 受講 (受講者 e-mail アドレス記入)

受講者氏名	フリガナ			連絡者及び連絡先住所 (勤務先・自宅) ○印をつけてください	
	性別	年齢	歳	〒	TEL
				住所	(日中連絡のつく番号をご記入ください)
			会社名/団体名	連絡者	
			部署名	氏名	

受講者【E-mail】 ※WEB受講希望の場合、必ずご記入ください。
(招待用URL送付先)

※受講申込み頂きました個人情報(氏名・住所等)は、お問合せや案内文書の送付、返信、本人確認のためだけに使わせていただきます。これらの目的以外には、一切使用しません。(協会個人情報保護規程第4条に基づき取り扱います。)